



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/byobugaura/>

10 月 号

平成30年 9月28日

横浜市立屏風浦小学校

校長 海老原 眞

「あきらめず ひたむきに」

校長 海老原 眞

9月29日(土)は、屏風浦小学校の第63回運動会です。今年は、運動会の練習が始まった頃から天候不順が続き、雨のために外での練習がなかなかできないことが多くありました。校長室の隅に飾られた『てるてる坊主』の力も借りて、明日はぜひ爽やかな秋空の下、たくさんのご来賓や保護者の方々、また地域の方々の温かいご声援やご協力を得て、子どもたちにとって思い出深い運動会が開催できることを、心より願うばかりです。

さて、運動会の練習は、夏休み明け9月になってから始まりました。それに先立って、担任の先生たちは、夏休み中から演技の曲を決めたり、振付や隊形移動を考えたりしてきました。放課後の職員室や教室では、担任の先生たちが熱心に話し合う姿や実際に踊ってみる姿がたくさん見られました。子どもたちの成長段階に合わせて、意欲をもって取り組めるよう、子どもたちの意見も聞きながら構想を立てていた学年もありました。

各学年の振付は、それぞれがとても工夫されています。チアを彷彿させるようなキレのあるダンスや、ヒップホップ風なダンス、友達と気持ちを一つにして表現するしなやかなダンス、そして日本伝統の踊りを取り入れたダンスなどの多様な振付は、その練習を見ていて、とても感心しました。衣装や持ち物の工夫も重なり、当日はきっとその振付が大きく輝いてみえることでしょう。また、休み時間には、実行委員や友達同士、動きを確認しながら楽しく教え合う姿も見られ運動会に向けての微笑ましい一場面でした。

振付を覚えた後はさらに大変な隊形移動の練習です。校庭いっぱいの直線や円、長方形、ひし形など短い曲の間でカウントを取りながら練習をしていました。初めは間に合わなかったり、形が整わなかったりする子どもたちですが、お互いに声をかけ合ったり、見合ったりしながら練習するうちに位置の感覚をつかみ、リズムに合わせて移動できるようになりました。苦労は多いものの運動会に向けての努力や協力が培うものの大きさを改めて実感しました。

最後の一週間。仕上げの時期になり、本番と同じ衣装を着けるとやる気がグッと高まり一人ひとりの動きや全体の調和がさらに良くなってきました。さらに高まろうと、担任も子どもたちも練習に熱が入り、ひととき大きなかけ声が聞こえてきました。そして、いよいよ明日、本番を迎えます。

日米のプロ野球で活躍してきたイチロー選手は、努力の大切さをこんな言葉で伝えています。

『決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる。』

運動会当日、目標をもった一人ひとりの子どもたちは、日々の積み重ねてきた努力やつながりを、演技だけでなく競技や係分担などの様々な場面でも発揮してくれることだと思います。一人ひとりの『笑顔 輝く』運動会となるよう、教職員一同も力を合わせてサポートし、その感動を共有できたらと思っていますので、応援よろしく願いいたします。そして、この運動会で得る感動と感謝の気持ちを学校生活に大いに活かし、目標に向かってあきらめず努力できる子に育てほしいと思います。